



国立大学法人 鳴門教育大学
情報基盤センター所長 博士(工学)

伊藤 陽介 様
ITO Yosuke, Dr. Eng.

鳴門教育大学のプロフィール

国立大学法人 鳴門教育大学は、1981年に新構想の教員養成系大学として創設されました。学部では、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の学校教員を養成しています。教員就職率92.1%で8年連続全国第1位の実績があります。

2019年4月から「教師教育のリーダー大学」として大幅に教職大学院を改組し、実践的で高度な教員養成を行う全国初の全教科型の教職大学院が誕生します。大学院修士課程ではJICAの開発途上国教員研修全国1位の実績を誇る強みを生かしグローバルな視点を持った教育人材の育成などを行ないます。

国立大学では稀に見る少人数制授業を実施しており、学部生465名・大学院生537名(2018年5月現在)が学んでいます。加えて、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校を擁し、多くの園児・児童・生徒も在籍しています。

e-Learning 映像配信で教育のプロを育てる

導入の背景 | 地方だからこそ、最高の情報環境を整える必要がある

鳴門教育大学は、四国と淡路島の間位置する瀬戸内海国立公園内に立地する自然豊かな素晴らしい環境にあります。一方、地理的には不便な側面もあり、徳島市や鳴門市の中心部からは車で数十分程度と離れています。そんな中では、大学そのものの魅力はもちろんのこと、充実した学習環境がなければ学生は集まってきません。特に、情報環境を充実させることが重要であり、学生や教員にとってインターネットやそれを駆使した学習ツールが都会にある大学よりも利便性が高いものでなければなりません。

2015年度から情報基盤システムの大規模な更新プロジェクトをスタートさせ、数億円規模の予算で1000台以上のパソコンやタブレット端末を入れ替え、重複していた複数のシステムの統合と新規導入を行いました。その中の大きなテーマの一つが遠隔教育におけるe-Learning 映像配信でした。

学校内の各セクションから担当者が集まり仕様策定委員会を組織して、情報基盤センターは取りまとめと調整役として積極的

に参画しました。大規模な改善のためには、学内のそれぞれのセクションの理解と協力が不可欠であり、大学の将来ビジョンを語り、筋骨きを作って共感して推進してもらえる仲間を増やしていきました。さらには、情報システムの充実を指示した学習指導要領の改訂が追い風にもなりました。同時期に創設された兵庫教育大学や上越教育大学の先行事例も参考にしました。策定した仕様はとて難易度の高いものでしたが、「いま、頑張れば次の展開は、より良く進めやすくなる」と考えて努力を重ね、2017年8月に入札を実施して2018年2月には稼働を開始しました。

「情報環境は生鮮食品」として私は捉えています。それは、セキュリティ対策やバージョンアップを常に続けていかなければシステムは古くなり問題が起こってしまうからです。また、利用者にとっての利便性も下がってしまいます。よって、常に新鮮な状態が保たれて、運用の手間の少ないクラウドサービスを積極的に利用する方針としました。それは結果的に、大幅なコスト削減にもつながりました。

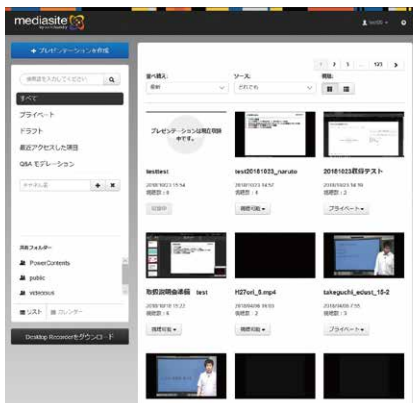
導入の効果

仮想化したe-Learning 映像配信プラットフォームでコンテンツ提供

今回、e-Learning 映像配信プラットフォームとしてMediasite EVPの機能を仮想基盤へ実装して利用できるサービスを導入しました。教員が自身のパソコンのカメラなど、パーソナルな環境で映像コンテンツを撮影して、仮想プラットフォームにアップロードして配信できる仕組みです。まずは、これまでに蓄積していたコンテンツ資産として、1000本程の映像を新しいシステムへと移行しました。

オンライン学習コースの構築はオープンソースのe-LearningプラットフォームMoodleを利用しており、それとe-Learning 映像配信プラットフォームとのシームレスな連携も実現できました。これにより、教員はMoodleで立ち上げた授業コースに映像コンテンツやスライド資料を登録することができます。学生は

Moodleにアクセスしてスムーズに映像コンテンツを視聴できます。まずは、これまでに蓄積していたコンテンツ資産として、1000本程の映像を新しいシステムへと移行しました。



教員免許の資格取得を目指している鳴門教育大学の学生はとても忙しい毎日を送っています。教育実習では2~4週間も大学を離れるので、それぞれの学生によって時期も異なります。それが映像コンテンツを利用して受講できればとても便利です。学ぶ場所と日時に制限がされることがなくなります。さらに、知のプラットフォーム形成として推進している四国5大学連携(徳島大学, 鳴門教育大学, 香川大学, 愛媛大学, 高知大学)においても遠隔地から映像コンテンツを通して受講することができます。

新規の映像コンテンツの制作と利用活性化のための取り組みを始めています。小規模な大学の良さを生かして、このe-Learning 映像配信プラットフォームの便利さと有用性を教職員や学生の口コミで広げていきたいと思えます。どんなに便利なシステムであっても、はじめの一歩は人と人が向かい合わなければうまくはいきません。研修会を開催して基本的な使い方のレクチャーをしています。



今後の展望 | e-Learning 映像配信の可能性を拡げていきたい

とても便利なe-Learning 映像配信プラットフォームが実現できたので、今後はいろいろな使い方ができます。例えば、講義以外にも、就職支援のガイダンス、教職員の研修にも映像コンテンツを活用できると考えています。

鳴門教育大学は地域貢献型大学として、地域の学校教員への研修や学校教育に対する様々な支援においても映像コンテンツを活用しています。徳島県は少子高齢化が進み過疎地が増え、地域の学校の統廃合が進んでいます。山間部にあつて中心部に出るまでにクルマで2時間以上もかかる地域も珍しくありません。そんな過疎地の教員の方々には、近隣の教育委員会のサテライト研修室に集ってもらい、鳴門教育大学からの映像研配信による研修を実施しています。将来的には、教員の方々の都合の良い場所ど

こからでもネットワーク参加できたり、いつでもオンデマンド映像講義を視聴できたりするようになると良いと思います。e-Learningを活用して、大学内外で学び続ける教員などを支援する教育システムを充実させていきたいと考えています。

オーディオビジュアルのメーカー色が強いソニーではありますが、今回はシステムインテグレータとしてプロジェクトに参画してもらいました。稼働当初に発生したシステムトラブルにも早急に対応してくれ、今では安定稼働ができています。今後もこれをキープして安定稼働率を100%に近づけてもらいたいと期待しています。また、ソニーは映像コンテンツを作るということにおいてトップランナーであると思うので、魅力的なコンテンツ作りのノウハウについても伝えていただきたいと思います。

導入機器

・ Mediasite EVP(仮想基盤への実装)

導入パートナー

・ リコージャパン株式会社、アジア合同会社、株式会社教映社(順不同)

講義収録・管理配信ソリューションの商品情報やお客さま事例をご覧ください。

ソニービジネスソリューション株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

[購入に関するお問い合わせは]
業務用商品購入相談窓口

0120-580-730

受付時間/9:00 ~ 18:00(土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

